

エクステンション講座

「二つの世界大戦とヨーロッパ統合」 第三回(20100526)レジュメ

第三回 総力戦とホロコースト

永岑三千輝

前回の受講者からのご質問の一つ：電子版レジュメを掲載した[永岑研究室・エクステンション講座 HP](http://eba-www.yokohama-cu.ac.jp/~kogiseminagamine/)のアドレスは？：

直接アクセスには、

<http://eba-www.yokohama-cu.ac.jp/~kogiseminagamine/20051117ShiminKozaList.htm>

サーバーは、旧商学部。そのアドレスが、<http://eba-www.yokohama-cu.ac.jp/>

この中の「経済学科教員欄」に私の名前があり、そこをクリックしていただくと、「永岑研究室」<http://eba-www.yokohama-cu.ac.jp/~kogiseminagamine/>へ。

日本の幕末開港・明治維新から日清戦争・日露戦争・第一次大戦・アジア太平洋戦争への流れを知りたい・・・最新の良質の話題策、[加藤陽子『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』](#)朝日出版社、2009年7月

はじめに

第二次大戦中の犠牲者・・・「戦争中だけで 5500 万人以上。そのうち、最もたくさん犠牲が出たのは、民間人・軍人でソ連」。(最新の国際シンポジウム案内の文言)

他方、本日のテーマであるホロコースト（ユダヤ人大量殺害）の犠牲者数は、約 600 万人。（ヒトラーの政治的遺言では、「[私が、ドイツと中部ヨーロッパからユダヤ人を根絶した](#)」…自らの反ユダヤ主義の誇るべき成果、感謝される業績として）

なぜ、こんなにたくさん？

どこで？

どのようにして？

どのような経過をたどって？

ホロコースト講義 HP：

<http://eba-www.yokohama-cu.ac.jp/~kogiseminagamine/20060126ShiminKozaNote.htm>

二つの世界大戦との関連性・・・ホロコーストは第二次大戦中の悲劇。しかし、第二次大戦は、すでに 2 回の講義で説明したように、第一次大戦とその帰結のあ

り方（ヴェルサイユ体制下の世界の構造的諸問題）と関連。

ヒトラー・ナチ党の第一次大戦の「敗北の克服」という基本戦略と関係。

1. 平時の迫害から追放へ（1933年-1939年）

1938年11月の「帝国水晶の夜」の迫害後の[キンダー・トランスポート](#)

2. 戦時下、移住政策（1939年9月－1941年12月まで）

[「民族の耕地整理」](#)・・・ポーランド人・ユダヤ人の追放と民族ドイツ人の植民
[「安楽死」作戦](#)

3. 独ソ戦・死闘の拡大とユダヤ人大量殺害開始・急進化（1941年6月－12月）

・ 東方大帝国建設の基本戦略・[ソ連分割支配](#)、

・ 1941年6月 [対ソ奇襲攻撃](#)・

占領地拡大と[リトアニア](#)などでのホロコースト

占領地域の反ユダヤ主義の扇動と利用：とくに、独ソ不可侵条約でソ連地域に併合され、1941年6月22日以降のドイツによるソ連攻撃で、ソ連軍を撃退した地域。

ソ連支配下で反ソ・反共主義ム・反ユダヤの意識が融合しやすかった地域、[現地住民によるボグロム](#)の条件がある地域。

・ ソ連侵攻当初の[占領政策の基本指針](#)

(占領地域住民の統合の必要性和[経済的利用=搾取の必要性](#)・・・矛盾する必要性のせめぎあい)

・・・・電撃戦の頓挫と占領政策基本指針の挫折

・ ヒムラー親衛隊ライヒ(全国・帝国・最高)指導者・ドイツ警察長官に[治安秩序樹立の任務](#)

・ [アインザッツグルッペ](#) (治安警察・保安部の特別出動部隊A, B, C, Dの4隊：[「世界観の軍隊」](#))
[ハイドリヒの命令](#)、

および秘密報告^{1[7]}書「[事件通報ソ連](#)」・

・ 「[活動・情勢報告書](#)」([第1号](#)、[第2号](#)、[第3号](#)、[第4号](#)、[第5号](#)、[第6号](#)、[第7号](#)、[第8号](#)、[第9号](#)、[第10号](#)、[第11号](#))

・ [リトアニア](#)、[白ロシア](#)、[ウクライナ](#)など

・ ソ連地域においてドイツ占領下に、戦時の最初の半年間に50万人余の殺戮

(Cf. [Aの総括報告1942年1月31日・付録地図](#)・・・アインザッツグルッペAだけで半年間に22万人ほど)

4. 全ヨーロッパの「ユダヤ人問題の最終解決」の準備命令

1941年7月31日付[ゲーリング命令\(ハイドリヒ宛\)](#)：

「ヨーロッパ・ユダヤ人問題の全体的解決を準備せよ」([電撃戦勝利の幻想・確信の段階](#)・・・[前線へのムッソリーニ招待](#))

5. 電撃戦の挫折・被害増大と「ユダヤ人問題」—占領地住民の統合の必要性—

(1) ソ連赤軍（多大の犠牲を払いつつも）の反撃の高まりと 1941 年 8 月のドイツ国防軍の損害

[ソ連戦時捕虜](#)・・・最初の半年間に 350 万余（ヒトラーの 12 月の国会演説）。

しかし、ドイツの被害は？

- ・ 41 年 8 月の内に、ドイツ国防軍の最精鋭・優秀な将校兵士の[戦死・行方不明、戦車などの大規模な被害](#)
- ・ [ハルダー陸軍参謀総長の記録](#)

(2) [プロテクトラート](#)、[総督府](#)、パリなどにおける不穏状態・・・食糧不足・配給への不満、伝染病、ストライキ・・・ヒトラーへの情報と要望。

ベルリンの情勢とゲッベルスのヒトラーへの要望（帝国宣伝大臣であり、かつ、ベルリン大管区長の職務にもあつてベルリンの治安情勢に重大な責任・・・[戦時下におけるユダヤ人移送の要望](#)・・・ドイツ本国の「民族同胞」の統合、不安・不満解消の手段）

シンドローム

「[1918 年症候群](#)」（1918 年 11 月の「[革命で敗北](#)」に終わった第一次大戦というヒトラー・ナチ国家指導部＝「[背後の匕首](#)」の神話と恐怖・憎悪）

フューラー

(3) 「[総統のご希望](#)」（1941 年 9 月 18 日文書）—[臨時的・一時回避的移送政策の強行](#)—

一方で、42 年春にはソ連に勝利して移送計画が実行できるとの思惑（対ソ勝利の熱狂的確信・妄想）。他方で、ハンブルクなどドイツ本国大都市への空襲・・・焼け出された「民族同胞」、それに対しユダヤ人は？・・・各地のナチ党大管区長からのユダヤ人排除の要請

(4) 臨時的移送を不可能・困難にする条件の蓄積・・・現場の抵抗（ウッチ^{2[9]}や[リガ](#)など）

ゲッター・・・41 年 9 月は既に 39 年冬以来、2 年。ゲッターの劣悪な生活条件、狭く不衛生、食糧不足、飢餓、伝染病、燃料不足

他方、軍需経済に組み込んだユダヤ人の活用のためには、その攪乱要因・新たな負担は回避（・・・軍需経済当局の発想・要望）

(5) [戦時下の移送の臨時的強行](#)（1941 年 10 月中旬から 11 月にかけて）

移送されたユダヤ人の状態は？

たとえば、リガ、ミンスクに送られたドイツ・ユダヤ人は、[「70-80%が労働不能」](#)

6. 「冬の危機」・対米宣戦布告・世界大戦化と絶滅政策への移行

[ヴァンゼー会議](#)（1941 年 11 月 29 日召集・会議日 12 月 9 日・・・「直前キャンセル」）・・・42 年 1 月 8 日再召集・・・「もう延期できない」…1 月 20 日にベルリン郊外高級住宅街にある親衛隊の建物（かつてのユダヤ人富豪の館）

7. ラインハルト作戦（1942 年から 1943 年 11 月）

ベウゼッツ・ソビボル・トレ布林カ（[ラインハルト作戦](#)）、

そして、アウシュヴィッツ

[ポーランドおよびハンガリーにおける反ユダヤ主義](#)

8. ドイツ国防軍の撤退とハンガリー・ユダヤ人の絶滅（1944 年春から夏）

9. ホロコースト ([すべて焼き殺す大量殺害](#)) の武器としての原爆の開発は？
ナチ体制下ドイツの原子力開発 (原爆・原子炉) は、[最終的には低い水準](#)。
それはどのような諸要因によるか？

最近の調査研究 (出張記録から) :

[2009年8月23日ー9月6日・マックス・プランク協会文書館 Berlin](#)

[2009年2月と3月の出張記録](#) (ミュンヘン・ドイツ博物館およびベルリン・マックス・プランク協会文書館)

原爆に関する空想科学小説は、第一次大戦勃発直前に・・・[ウエルズ『解放された世界』](#)。

空想科学小説作家ウエルズとシラーの交流。

シラーとアインシュタインの交流 (両者ともユダヤ人)。

1938年12月 [オッター・ハーン、シュトラスマンによる核分裂発見](#)

理論的解明は、リーゼ・マイトナー (ユダヤ人、スウェーデン亡命中)

1939年1月 学術雑誌にハーンとシュトラスマンの連名で発表。

夏までに、世界中で核分裂が確認され、同時に、[連鎖反応 \(原爆・原子炉の原理\)](#) の理論的可能性解明。

1939年8月2日 シラーの働きかけで[アインシュタインからローズベルト大統領へ書簡](#)。

1939年9月1日 ドイツのポーランド奇襲攻撃開始。

1940年夏までに、西ヨーロッパ全域を電撃的に支配 (軍事占領)。

シラーたちの焦り、アインシュタインの第二の書簡。

1940年6月15日の大統領書簡 (ヴァニヴァ・ブッシュ宛)

1941年5月17日 米国科学アカデミー原子核分裂委員会 (第一次) 報告書

1941年12月 日米開戦。ヒトラーの対米宣戦布告。

1942年1月1日 26カ国連合宣言。

1942年の[ドイツの原子力開発状態は？](#)

1942年6月 ハイゼンベルクの演説・・・原子力開発の研究継続を要請 (陸軍の直轄から離れて、化学研究としてのウエイトが高まる)。

アメリカではまさにこの夏、[マンハッタン計画](#)が開始。陸軍による実際の原爆開発プロジェクト。